

いつの間にかできることが増えて

生きる力が身に付いた

留学先： Griffith University (オーストラリア)
私立高等学校卒業 T.W.さん

2017年3月 高校卒業
2017年10月 Griffith University 英語コース入学
2018年2月 同校 進学準備コース入学
2019年2月 同校入学
(専攻 Business, Event Management)
2020年10月 同校 卒業



海外の大学に留学しようと思ったきっかけは？

修学旅行でカナダに行ったとき、日本とはまったく違う景観を見て感動しました。もっといろいろな場所に行ってみたい、と思ったことが異文化や旅行業に興味を持ったきっかけです。

高校時代はサッカーばかりをやっていたので、本腰入れて英語を学び始めたのは受験勉強を始めた頃からでしたが、親からも海外が合っているのではと言われ、目指すことを決意しました。

留学先にオーストラリアを選んだ一番大きな理由は安全面です。また興味を持ち始めた観光業が強い点も魅力でした。

オーストラリアでの暮らしについて教えてください。

初めてひとりで海外に行ったので不安はありましたが、大学の進学準備コースが始まってみると、のんびりした雰囲気があり楽しそうだな、と感じました。思っていたより暮らす上での問題はありませんでしたね。

英語で苦労はありましたか？

英語コースでは、情報テクノロジーや社会情勢のことなど様々なトピックをもとに、英語の基礎技能を伸ばす授業が行われました。

入学前の日本での勉強で、英語を読むことはある程度何とかできましたが、書く・話すのは大変でした。しかし必要な勉強の量が膨大なもので、自然と慣れます。その環境に入ってしまうとやらざるを得ないし、やっているうちにいつの間にかできることが増えていく、というのが感想です。

大学の専攻はどう選びましたか？

最初は旅行業界に就職したいと思い、Hotel Management & Tourism を専攻するつもりでした。Griffith University も観光学が強いために選んだ大学です。しかし入学する時点で Event Management に変更しました。進学準備コースで勉強しているうちに、より自分で企画できる裁量が多い分野を選びたくなったのです。自分の場合は幸い単位の多くが移行できたので、時間も無駄になりませんでした。

授業内容やクラスメイトについて教えてください。

大学の授業はイベントを作り上げていくことがメインです。自分でコンセプトを考え、プランを立て、開催地を比較検討し、費用を調べて予算案を作り、当日までのタイムラインを作るところまで行ったので、とても実践的かつ楽しかったです。実際に会社で提出できるくらいのレベルまで練り上げていたと思います。

オーストラリアの学生は本当によく発言します。特にグループワークでは最初は圧倒されますが、修正点など、入っていけるトピックから参加していく。そうやって、ディスカッションに参加するスキルも身に付けていきました。

留学が就職に生きていることを教えてください。

インターンシップを経て内定をもらった外資系コンサルタント会社では、大学の勉強で身に付けた企画力や、留学先でもサッカーを継続したこと、現地で色々なことに参加した積極性などを評価いただいたようです。上司にあたる方々にも海外の大学出身者が多いので、留学体験を理解してもらいやすかったということもありました。また授業で作成していた実践的なレポートの作り方は、そのまま業務に生かすことができます。

これから海外の大学進学を検討する日本の高校生へメッセージ

オーストラリアは生活しやすい環境だと思います。最初は不安に思うかもしれませんが、勇気を持って色々なことに挑戦することが大切だと思います。実際、英語が完璧でなくてもみんな理解しようとしてくれるので、遠慮せずに話しかけた方がいいです。恥ずかしいと思わず、多くの国の人や先生と積極的にコミュニケーションを取って生活することで、様々なことや、時に予想以上のことを経験できます。ぜひ勇気を出して、留学にチャレンジしてください。